

ちいちゃんのにじ

さく・ろうどく・うた HIKARI (ひかり)

ちいちゃんのにじ

ちいさいけれど おおきなゆめをみる

ちいさいけれど おおきなゆめがある

しょうがくいちねんせいのちいちゃんは、
ちいさいものが好きでした。
ちいさいおもちゃ、ちいさいボタン、
ちいさくなったえんぴつ、ちいさなかいがらなど、
ちいさいものを、つくえのひきだしのなかに
あつめていました。

ちいちゃんのおとうさんは、ちいちゃんが
あかちゃんのとくに、じこでなくなりました。

ちいちゃんは、おかあさんとくらしていました。

ちいちゃんは、いつもひとりであそびました。
じぶんのきもちをつたえることがにがてだったので、
だれともあそぶことができないのでした。

あるひ、ちかくのこうえんで、
ちいさなガラスを見つけました。
ちいちゃんは、そのガラスがとてもきにいました。

しごとからかえってきたおかあさんにガラスをみせると、
「たからものがふえてよかったわね。」といわれ、
ちいちゃんはうれしくなりました。

あさおきると、おかあさんが、ガラスをいれるための
ふくろをつくってくれていました。
あおいいろをしたふくろでした。

ちいちゃんは、さっそくガラスをふくろにいれました。

がっこうからかえると、こうえんにいきました。

そのこうえんには、おおきなきがありました。

ちいちゃんは、ふといみきによりかかってすわりました。

ガラスをとりだし、きれいだなあとおもっていると、

ちいちゃんのしろいスカートがひかりました。

こもれびがガラスにはんしゃして、

スカートに、なんしょくものいろがついたのでした。

ちいちゃんは、「わぁ。」とよろこんで、

なんどもなんども、ガラスをひからせました。

「おかあさん、あのね、

ちいちゃん、にじをつくれるようになったのよ。」

「ほんと？」

「うん。いまからつくってあげる。」

とくいげなようすで、ちいちゃんは、へやのでんきを

うまくガラスにあてて、「にじ」をつくりました。

「ちいちゃん、すごいわね。」と、
おかあさんにほめられたので、
ちいちゃんは、とてもうれしくなりました。

はれたひには、こうえんのきのしたにすわって、
「にじ」をつくってあそびました。
あかいろ、オレンジいろ、きいろ、みどりいろ、あおいろ、
あいいろ、むらさきいろ……。
たくさんのいろがありすぎて、ちいちゃんには、
かぞえきれませんでした。

ちいちゃんのにじは ちいさなにじ
うまくひかりをあつめてつくる
ちいちゃんのにじは やさしいにじ
うまくきもちをあつめてつくる